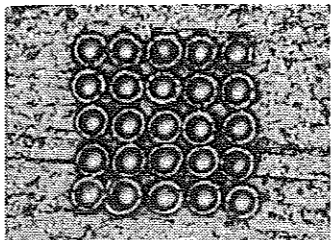


# 匠のネットワークで高度化を実現



## 信栄テクノ

アルミ材に直径3分の1の極小径孔を連続加工(写真)する技術を持つ信栄テクノ。ある企業と共同開発した専用ドリルを使用し、板厚12分の1のアルミ材に貫通穴を5分径ピッチで五つずつ5列に計25穴連続加工する。従来は直径4分の1が最小だったが高精度なNC工作機械とドリルを工夫したに加え、加工対象物をつかむチャッキングや温度管理など同社が持つ高い技術を結集させ実現した。レーザー加工やエッチング工法では均一な微細加工が難しく、ドリルでの加工と比べて仕上がりに差が出る。近年、医療や通信などの研究開発で微細加工のニーズが高まっている。同社は長年の加工技術ノウハウを最大限に生かしドリルによる微細加工を各方面に提案していく。

信栄テクノ(東京都大田区東六郷1-13の10、高橋一康社長、03・3739・3121)

## 南武

油圧シリンダーを製造する南武は町工場の手本として海外からの視察も多い。今年もアメリカやロシアなどから教育者や企業関係者が本社工場を訪問、生産設備や技術、技術などを見学(写真)した。日本の産業は中小企業の技術によって支えられている。見学者は南武の技術に納得し、中小企業の力強さに驚いた。ダイカスト部品の金型用中子抜きシリンダーは、ほとんどの自動車メーカーが同社の製品を採用しており、まさに自動車業界に無くてはならない存在となっている。

南武(東京都大田区萩中3-14の20、野村和史社長、03・3742・7377)

## テクニスコ

テクニスコは半導体ウエハー切削装置の世界的な大手デイスコのグループ企業。現在は高度な「切る・削る・磨く」技術に加え、メッキ、薄膜形成、エッチング、さらには組み立てまで行う。高精度の加工技術を複合的に活用して技術の標準化

「現代の名工」に選ばれた2人をはじめ、その技術を継承する若手も切磋琢磨し、新素材への研究も怠らない。同時にIT化による効率化と技術の標準化にも取り組んでいる。

上島熱処理工業所(東京都大田区大森西4-17の13、上島秀美社長、03・3753・7788)

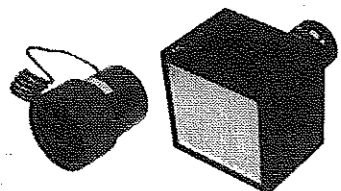
## 東京・城南地区

### 南東京支局特集

日本の製造業は、自動車や家電を中心に製造拠点の海外流出が加速している。国内メーカーの現地生産化の動きに合わせ、雇用やコストから部品や資材を供給する協力企業も追随し、アジアは、日本の大きな工業団地になっている。しかし、研究開発やテクノロジを組み合わせた先端技術では、長年の経験が必要で、どうしても日本の技術が必要になる。それは、金型や試作、表面処理、精密加工など特定分野で積み重ねた経験と技術、一芸に秀でた、匠の技をもつ企業だ。今でも多くの匠が存在する東京・城南地区。加工精度と品質は日本の代表格で、おのずと技術に関する情報が集まり、実現を目指す地域だ。高度な技術をもつ企業とそのネットワークをモノづくりに生かして、一流品を生み出し続ける企業にスポットを当てた。

## 三旺電機

74年に無鉄芯(コアレス)モーターのカップ型コイルの開発に成功して以来、特殊モーター製造と開発の技術で高い評価を受けている三旺電機。同社の代表的な製品として「三旺コアレスファンモーター」や「三旺ファンタ付ファンモーター」



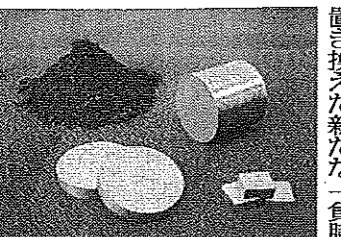
写真がある。軽量で性能に優れたコアレスモーターを採用した「三旺コアレスファンモーター」は高回転数が生み出す高風量、高静圧により、急冷、吸引など他製品では不可能な機能へ応用でき、また同社製のファンモーターとフィルタをユニット化した「三旺ファンタ付ファンモーター」はクリーンルーム内の局所的な塵や埃に有効。コスト意識が強まる中、予算削減を可能にする。今後も「製造から創造へ」を目標にモノづくりの頭脳集団を目指す。

三旺電機(東京都大田区南千束3-12の2、水谷年志社長、03・3727・3001)

## 新技術を「カタチ」にする 一流のモノづくり

### フルウチ化学

フルウチ化学はスパッタリングターゲットや半導体材料の製造・販売を行っている。創業以来、「世に存在しない新素材」を作ることをモットーに製品を提供する。茨城県の筑波工場では新素材をいち早く実用化するため、最先端の研究開発を行う。11月に発売したマンガン窒化物(Mn)ユリウム・ファイバー



05年名古屋大学の竹中康司准教授が温度が上がるのと縮むマンガン窒化物の一部をケルマニウムに置き換えた新たな「負膨張材料」を開発した。製品化は真に大きな期待を受け、熱の膨張を避けた精密光学、加工機械部品から鉄道レールまで幅広い使用が見込まれる。今後、「ユリウム・ファイバー」を使った製品が広がる可能性は高い。

フルウチ化学(東京都品川区南大井6-17の17、古内明夫社長、03・3762・8161)

### マークテック

製造業の多くが発注先から品質管理を求められている。非破壊検査は、壊さずに設備や部品、素材のきずや亀裂を見つけて検査法で、今後も需要拡大が見込まれる。

マークテックは非破壊検査装置と探傷剤の有力メーカー。油井パイプは、

マークテック(東京都大田区大森西4-17の35、松川英文社長、03・3762・4451)

### 新妻精機

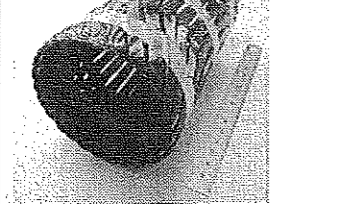
東京・城南地区は、試作加工を専門にする町工場が多い。家電製品など商品寿命が短くなり、メーカーもおのずと開発速度を増し、試作の短納期化が進んでいる。

平均5日、なかには翌日といった早い注文もきっちりこなしているのが新妻精機だ。大田区内の6工場と長野工場、山形

工場に、最新鋭のマシニングセンタなど130台以上の機械を持つ。金属や樹脂などあらゆる素材に対応し、肉厚1mm以下、公差2・3分以下の高精度で加工する。いづれど注文を受けても即応できる生産設備が同社にはある。

新妻精機(東京都大田区下丸子2-29の8、新妻清和社長、03・3759・7123)

## 「開発・設計・試作」ご相談ください!



コアレスコイル  
モータ・電磁石  
モールド加工

三旺電機(株) 〒145-0063 東京都大田区南千束3-12-2  
TEL.03-3727-3001 FAX.3727-3751  
URL http://www.30ec.co.jp